

お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 お買い上げモデル名： _____

【全モデル共通】

履いていても履いていなくても、素材の経年劣化が起こります。ご注意ください。しばらく履かなかつたMBT、またはご購入から年数が経過したMBTをお履きになる際は、ソールの破損などのトラブルがないか、チェックしてからご使用ください。

修理のタイミングや使用の限界期についてご不明な場合は、当店までお気軽にご相談ください。

【ソールの素材別】

該当	素材	特徴・劣化の仕方	メンテナンス方法
<input type="checkbox"/>	ポリウレタン（以下PU）	形状の安定性、反発力の持続性にすぐれる。 通常、製造後3～5年で経年劣化により破損し製品の寿命を迎える。ただし、使用状況や保管環境により耐用年数はそれより短くなることもある。	アウトソールが摩耗した場合、MBTセンサーやミッドソールに達する前に、 <u>アウトソールの部分補修を行う</u> 。 ミッドソールやMBTセンサーの修理、張替えはできない。
<input type="checkbox"/>	EVA	軽くてソフトな感触。 形状の変化、弾力性の低下（ソールのヘタリ）がPUに比べて起きやすい。経年劣化による破損は起きづらいため、使用の限界がわかりにくいことがある。 クッション性、履き心地が低下したと感ずるようになったら、お買い替えのタイミング。	アウトソールが摩耗した場合、MBTセンサーやミッドソールに達する前に、 <u>アウトソールの部分補修を行う</u> 。 ミッドソールやMBTセンサーの修理、張替えはできない。
<input type="checkbox"/>	混合タイプ	上記「ポリウレタン」「EVA」の両方を参照。	
<input type="checkbox"/>	EVA（MBTセンサーなし ※ランニングモデル）	MBTセンサーが内蔵されていない、一体型ソール。その構造により軽量化できる。 使用頻度や使用方法にもよるが、耐久性は低め。	ソールの修理はできない。 靴底のパターンが半分近く消えてきた、あるいは弾力性が低下したと感ずるようになったら、お買い替えのタイミング。

【アッパーの素材別】

該当	素材	特徴	メンテナンス方法	防水スプレー*
<input type="checkbox"/>	メッシュ	通気性が高い。 フィット感が良い。 スポーツ、カジュアルモデルによく使われる。	水洗い可、スニーカー用シャンプーなども使用可。	かけても良いが、目の粗いメッシュにはあまり効果がない。
<input type="checkbox"/>	メッシュ+シンセティックレザー（人工皮革）	通気性が高い。 フィット感が良い。 スポーツ、カジュアルモデルによく使われる。	水洗い可、スニーカー用シャンプーなども使用可。	かけても良いが、目の粗いメッシュにはあまり効果がない。
<input type="checkbox"/>	シンセティックレザー（人工皮革）	革のような見た目を持ちながら、お手入れがラク。 全体がシンセティックレザーで構成されている製品は、本革の製品と比べて耐用年数は短くなる傾向にある。 やや通気性に欠ける。	水拭き、部分洗い程度はOK。丸ごと水洗いは傷みを早めるため、おすすめできない。	○ 必須ではない。
<input type="checkbox"/>	レザー<スムースレザー>	表面がなめらかな革。 オールシーズン対応、幅広い用途に。 適切なお手入れを行うことで、使いこむうちに足になじみ味わいが出る。	レザー用クリーナーで汚れを落とし、その後、スムースレザー用のクリームや靴墨を使用。	○ 月に1回程度。あるいは雨の日のお出かけ前にスプレー。
<input type="checkbox"/>	レザー<ヌバック> レザー<スエード>	起毛した革は、暖かみ・光沢感がある。 適切なお手入れを行うことで、使いこむうちに足になじみ味わいが出る。 ヌバックは革の銀面（おもて側）をサンドペーパーなどで起毛させたもの。 スエードは革の床面（うら側）をおもてにして、サンドペーパーなどで起毛させたもの。	こまめにブラッシングすると、汚れがつきにくくなる。 起毛革に使用できるレザー用クリーナーで汚れを落とし、乾いた後もブラッシングをする。 部分的な汚れは消しゴムでもOK。	○ 月に1回程度。あるいは雨の日のお出かけ前にスプレー。 汚れの付着を防ぐことにもなる。
<input type="checkbox"/>	レザー<パテント/エナメル>	レザーの表面に樹脂によりコーティング（エナメル加工）を施したものの。 高温多湿な場所に保管しておく、表面が溶けてベタついたり、他のものとくっついていたりすることがある。逆に極寒な場所ではひび割れすることがある。	こまめに布で乾拭き。汚れが目立ったら、エナメル専用ローション（汚れ落とし&つや出しができるもの）でクリーニングする。薄紙、ビニール、他の靴とつかないように保管。	× 防水スプレーをかけるとうもってしまうことがあるので、避ける。
<input type="checkbox"/>	混合タイプ	レザーが用いられている場合は水洗いできない。上記を参考に、部分ごとの素材に合わせたお手入れを。		

*防水スプレーをかける際は、ソール部に極力付着させないよう、アッパー部分にかける。

【サンダル - フットベッドの素材別】

該当	素材	お手入れ方法
□	レザー	汚れが目立ったら、レザー用クリーナーで汚れを落とす。
□	マイクロファイバー	汚れが目立ったら、水拭きまたはクリーナーで汚れを落とす。

【MBTのクリーニング方法】

①インソールを取り出し、靴紐をはずす。靴底の泥や内側のごみを軽くはらう。

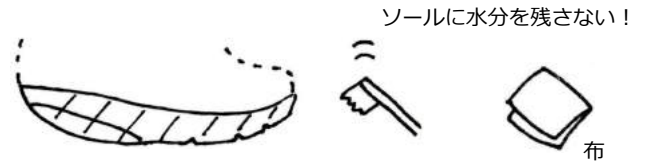
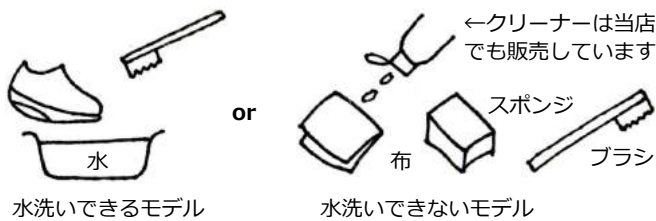
②アッパーは素材に適した方法でクリーニングする。

- ・メッシュ…ブラシやスポンジを使って水洗い。（少量の中性洗剤で）
→よくすすぎ、陰干しする。
- ・スムーズレザー…クリーナーを含ませた布で拭いて汚れを落とす。
- ・起毛レザー…スポンジやブラシを使い、クリーナーで汚れ浮かせる。
→布で拭きとる。→乾燥後もブラッシング。（金ブラシが最適）

③ソールをクリーニングする（汚れている場合のみでOK）。

ソール側面は水拭き。汚れが目立つ場合、クリーナーを使うと良い。古い歯ブラシなどで軽くこすると落ちやすい。

水洗いできるモデルでも、ソールを長時間水に浸すことは避けて、陰干しする段階で乾いた布でソールについた水分をよく拭き取っておく。



④インソールと靴紐も必要に応じて洗う。

- ・レザーインソールはレザークリーナーで拭く。
- ・メッシュインソールは水洗い。（少量の中性洗剤で）

※サンダルのフットベッドもインソールを参考に。

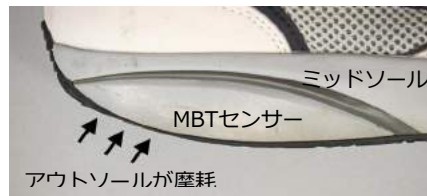
⑤仕上げ。

- ・スムーズレザーは革の栄養クリームや靴墨を塗る。
- ・革靴（パテントを除く）はアッパーに防水スプレーをかけておくと良い。



【アウトソールの部分補修について】

アウトソールの摩耗がMBTセンサーやミッドソールに達してしまうと、MBT独自の履き心地と機能が損なわれてしまいます。アウトソールがすり減ってきたら、部分補修をすることで、より長くお使いいただけます。ソール補修は踵の外側周辺（写真○の部分）とつま先（△の部分）のみ可能。市販されている靴底補修剤を使用し、ご自宅にてして補修いただけます。当店でも補修剤を販売しています。シューグー（2色）¥1,332



<手順>

- ①底面の汚れを落としておく。水で洗った場合、乾かす。
- ②摩耗部分にやすりをかける。（補修剤の付きをよくするため）
- ③アウトソールの縁に仕上がりの高さより高めになるようセロハンテープを貼る。（補修剤がこぼれるのを防ぐため）
- ④貼ったセロハンテープを壁にして、摩耗部分を補うように補修剤を盛っていく。
- ⑤補修剤が固まったら、セロハンテープを剥がす。
- ⑥厚みが足りない場合は、補修剤を塗り足し、再度固まるのを待つ。
- ⑦余分な補修剤はハサミ等でカットして、均一な面に仕上げて完成。



【ショップでのメンテナンス】

当店でご購入いただいたMBTは、格安にてメンテナンスを承ります。※完了後2週間以内に、必ずお引き取りくださいませ。

内容	所要日数	料金	備考
水洗い	2~3日間	300円	
レザークリーニング	2~3日間	1,000円（ブーツは2,000円）	
アウトソールの部分補修	2~3日間	1ヶ所500円	☆通常、左右で計2ヶ所になることが多いです。

その他修理について：腰裏（靴の内側・かかとにあたるパッド部分）の補修、ファスナー修理、ベルクロストラップ交換、金具修理などは、いったん当店で受付し、MBTリペアセンターでの有償修理となります（2~4週間のお預かり）。

掲載している内容は2019年7月現在のもので、変更する場合がございます。料金・価格はすべて税抜です。

お問い合わせ 03-5475-2090 info@coregallery.jp

